

令和元年度 地方創生推進交付金事業 検証シート

| | |
|--------|-------------------------------|
| 事業名 | 霧島ガストロノミーと地域商社で興す「食」のムーブメント事業 |
| 担当部局課名 | 商工観光部霧島PR課 |

1. 事業概要等

| | | | |
|--------------------|---|---------|--------------|
| 事業を企画した目的及び事業の概要 | <p>本事業は、霧島ガストロノミーの理念である「きりしま食の道10か条」に基づき、本市の魅力的な地域産品を活かしたブランド化の推進、市場のニーズにあった新製品の開発・提供、話題性のある効果的なPR等を実施し、農林水産物の付加価値向上に伴う“採算性（稼ぐ力）”の向上や農林水産業、サービス業の後継者・担い手の確保に繋げることを目的としています。</p> <p>令和元年度は、本市の地域ブランドである「ゲンセン霧島」ブランド認定制度を運営し、11件の認定品・活動が「ゲンセン霧島」に認定され、同ブランドを活かしたPRを幅広く展開しました。</p> <p>県内外の飲食店と「ゲンセン霧島」ブランド食材使ったフェアの実施やご当地料理「霧島つつみ」の提供を24の飲食店、宿泊施設などで展開しました。他にも、情報発信のためのWEBサイト構築や東京農業大学との包括連携協定によるインターンシップの受入や同大学収穫祭への参加などを行っており、今後も継続して実施していくこととしています。</p> | | |
| 交付額 | 6,465,000 円 | 交付対象事業費 | 14,266,307 円 |
| 事業始期年月 | 平成31年4月1日 | 事業終期年月 | 令和2年3月31日 |
| 霧島市ふるさと創生総合戦略との関係性 | <p>基本目標 I まちを元気にする、人を豊かにする産業づくり</p> <p>関連施策 I -②「強い」農林水産業の育成「稼ぐ」農林水産業の創造</p> | | |

2. 本事業における重要業績評価指標（KPI）

| | | | | | |
|------------|--|------|------------|--------------|-------------|
| 設定した目標値の根拠 | <p>霧島ガストロノミー推進協議会は、商工業、農業団体、生産者、大学、行政機関などで構成しており、これらの政策連携による販売実績を具体的に数値化し、評価・検証することで、本事業の成果を明確にするものです。</p> <p>①本事業を通じて開発・生産された産品やブランド認定品の販売実績は、本事業の成果として最もわかりやすい指標である。（アウトカム）</p> <p>②本事業を通じて開発・生産された産品やブランド認定品を取扱う事業者の件数は、本事業の成果を一定数測ることができる指標である。（アウトカム）</p> <p>③ブランド認定数は、本事業の活動量を一定数測ることができる指標である。（アウトプット）</p> <p>④ブランド認定応募数は、本事業の活動量を一定数測ることができる指標である。（アウトプット）</p> | | | | |
| | 指標 | 達成状況 | H30実績値 | R元実績値 | 目標値 |
| KPI① | 本事業を通じて開発・生産された産品及びブランド認定品の売上高・出荷額 | 達成 | 1,467,279円 | 450,402,486円 | 21,000,000円 |
| KPI② | 本事業を通じて開発・生産された産品及びブランド認定品の新規顧客契約件数 | 達成 | 30件 | 50件 | 11件 |
| KPI③ | ブランド認定数（七つ星、五つ星、三つ星） | 達成 | 38認定 | 11認定 | 32認定 |
| KPI④ | ブランド認定応募数 | 未達成 | 41応募 | 11応募 | 60応募 |

3. 本事業の地方創生への効果

| |
|-------------|
| 事業効果 |
| 地方創生に効果があった |

【凡例：選択肢】

| | | |
|---|-----------------|---|
| ① | 地方創生に非常に効果的であった | 例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 |
| ② | 地方創生に相当程度効果があった | 例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 |
| ③ | 地方創生に効果があった | 例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合 |
| ④ | 地方創生に対して効果がなかった | 例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合 |

4. 実績値を踏まえた今後の事業展開の方針

| 今後の事業展開の方針 | 対象事業が総合戦略の推進に及ぼした影響及び今後の事業展開方針の理由 |
|------------|--|
| 事業の継続 | <p>本事業により、本市の魅力的な食に関連する地域資源を発信する仕組みが構築され、それによって、六次産業化の推進や市場のニーズにあった新製品の開発・提供、話題性のある効果的なPR等に繋がっています。</p> <p>特に、「ゲンセン霧島」ブランド認定制度は、募集活動により霧島ならではの産品・活動に光があたり、審査でのアドバイスや結果により事業者の育成に繋がることが期待されています。また、認定事業者同士の新たな連携やコラボレーション商品が生まれるなど、市全体の活性化に繋がっていく事業であり、今後も継続して展開していく予定です。</p> |

【凡例：選択肢】

| | |
|---|---|
| ① | 事業の継続（計画通りに事業を継続する） |
| ② | 事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる） |
| ③ | 事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った）） |
| ④ | 事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した）） |
| ⑤ | 事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した）） |